

基本施策7	児童や青少年の居場所づくり
児童が身近な地域で友だちと触れ合いながら安心して過ごすことができ、青少年が社会の責任ある一員として成長できるようにします	

■現状と課題

共働き世帯の増加や働き方の多様化により、放課後の子供の居場所への充実が期待されています。各々の子供の成長及び発達に適した多様な居場所の確保や子供同士の交流が促進される安全安心な環境の整備が求められています。
児童センター(館)や放課後の居場所では、子供及び子育て家庭にとって身近な拠点として子供の健全な成長及び発達を支援するほか、子供及び保護者に対する相談機能も求められています。
青少年が地域と関わる機会が減少している傾向があり、青少年育成活動に対する問題意識に地域差が見られるため、地域の実情に応じながら、地域に関わりやすい環境や仕組みによる青少年の育成が必要です。また、青少年を取り巻く課題に対し、地域資源の活用や福祉施策との連携が求められています。
青少年育成団体、保護者に対して情報提供の充実及び問題の共有化を図ること並びに青少年育成団体等が中心となって活動する人材の育成及び確保が必要です。

■指標(計画策定時)

①放課後児童のための居場所づくりの満足度

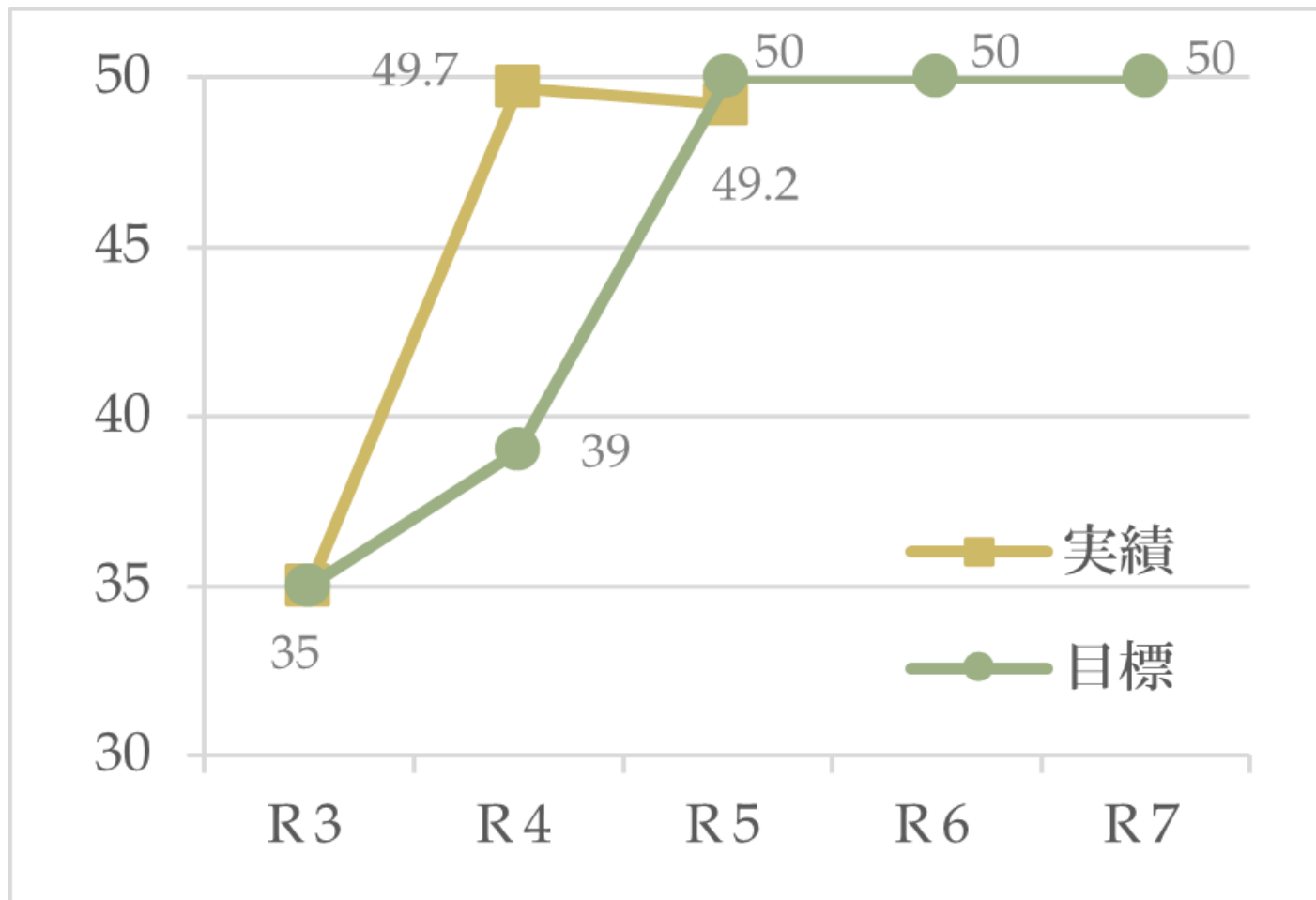
令和2年度(現状値) 40.9% ➡ 令和7年度(目標値) 50.0%
【定義】第五次総合振興計画アンケートにおける「放課後児童のための安全で健やかな居場所づくりを進める」で10代の「満足」「まあ満足」と回答した割合
【目標値】今後、全市的な学童クラブとわこうっこクラブとの一体的運営や児童センターリニューアル等を予定していることから、アンケート結果の「やや不満とする」9.1%の解消を目指す。

②青少年育成関連団体と人材数

令和元年度(現状値) 実施17団体 参加479人 ➡ 令和7年度(目標値) 17団体 800人
【定義】社会的要因により、地域活動団体組織員の後継者不足、会員の減少で組織の維持・存続が困難になっていることから、団体数やそれにかかわる人数を設定
【目標値】社会変化により高齢少子化・共働きが増加しており、地域活動などへの参加が難しくなっており、過去の増減率を参考に団体数の現状維持と参加者のほぼ倍増を目指す。

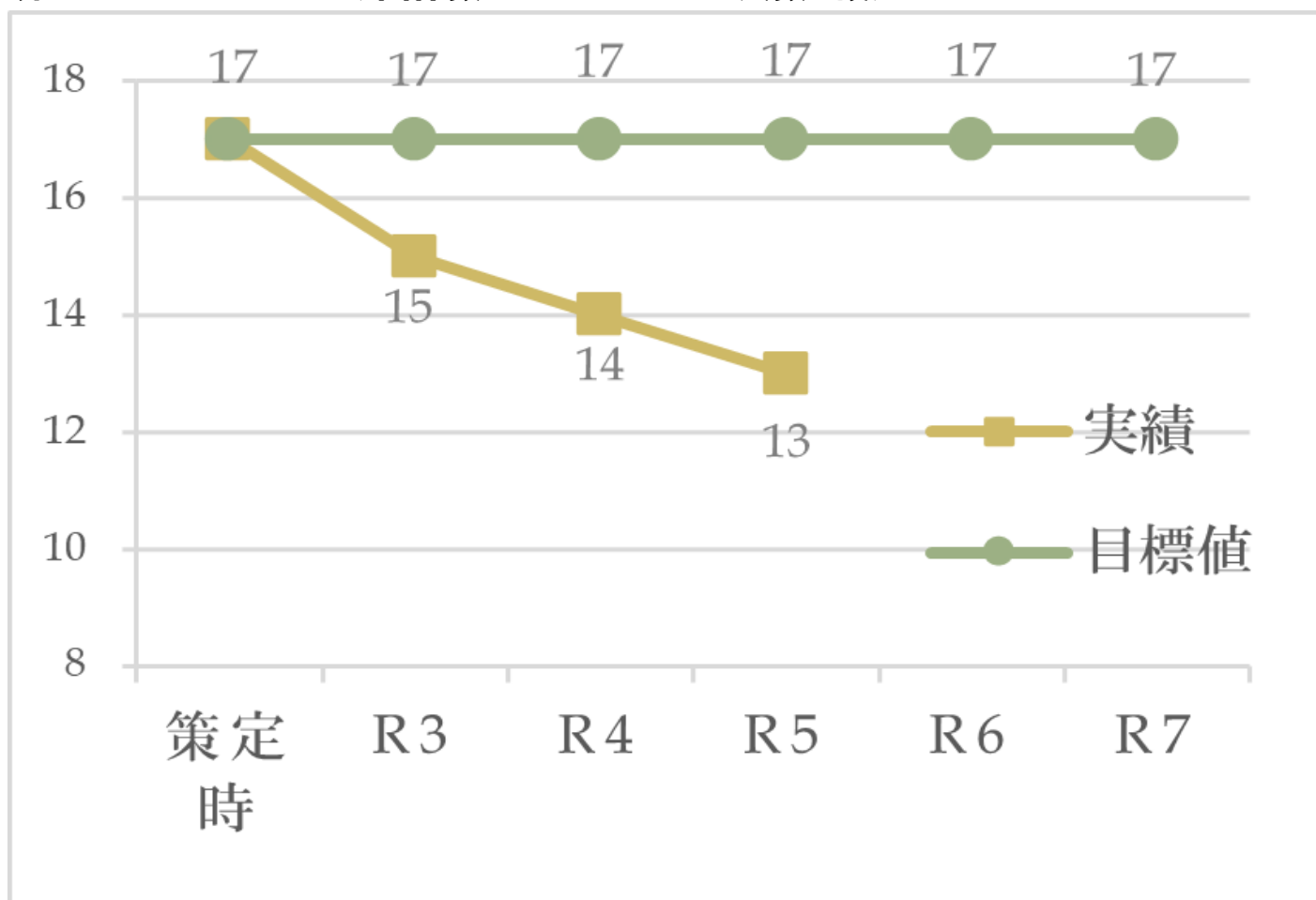
①わこうっこクラブ登録児童割合

市内小学校のうち、わこうっこクラブの利用登録をしている児童の割合

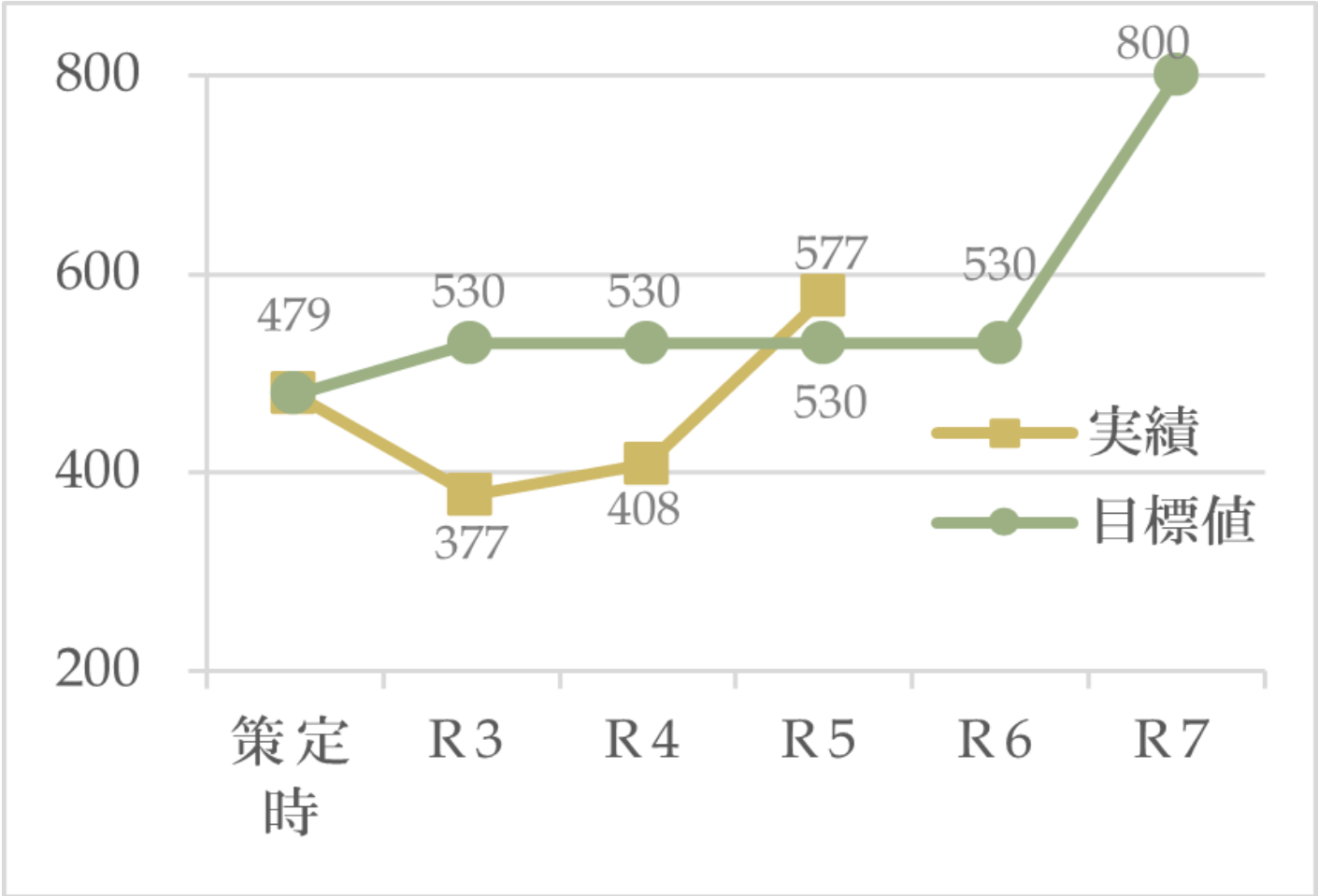


②青少年育成関連団体数

社会的要因により、地域活動団体組織員の後継者不足、会員の減少で組織の維持・存続が困難になっていることから、団体数やそれにかかわる人数を設定



社会的要因により、地域活動団体組織員の後継者不足、会員の減少で組織の維持・存続が困難になっていることから、団体数やそれにかかわる人数を設定



■主な取組

施策1	学童クラブとわこうっこクラブの一体型施設又は一体的な運営による放課後の児童の居場所づくりの推進
施策概要	・国の新・放課後子ども総合プランに基づく、「学童クラブ」と「わこうっこクラブ」との一体型施設又は一体的な運営により、放課後等における児童の居場所の充実を図ります。 ・既存施設や小学校の教室等を最大限活用するなど、放課後の居場所を確保します。 ・イベント型事業である「子ども教室」をわこうっこクラブに包含し、地域と協力して実施します。
具体的な事業・取組等	・令和3年度から全小学校でわこうっこクラブの指定管理者制度を導入し学童クラブとの一体的な運営を実施している。 ・これまで市直営の子ども教室に携わっていた市民ボランティアの方が、引き続き指定管理者が実施する教室に関われるようにしている。また、市内の地域資源を活かしたイベントも適宜実施している。 わこうっこクラブ：平日（放課後～17時）、長期休業日は9時～17時に開室 子ども教室：月2回（6月～3月 ※8月は除く）実施
自己評価	一体型運営により、施設によっては学童クラブとわこうっこクラブの子どもが日常的に交流することができ、またどちらの児童も参加できるイベントが開催できた。また、スタッフも連携することができ、効率的な運営ができている。 今後も指定管理者との連携による、円滑な運営を図り、子供が安心して安全に参加できる、環境づくりに努めていく。

施策2	児童や青少年の居場所づくり
施策概要	・公共施設等において、施設や地域の特性を活かした各種事業や催し物など、魅力ある居場所づくりを実施します。 ・よりよい居場所づくりとなる施設や地域の実情が伝えられるよう、地図・パンフなどの可視化できる仕組みづくりに取り組みます。
具体的な事業・取組等	【中央・坂下・南公民館】 学校の長期休業中(春・夏・冬)に空き部屋を利用した自習室開放を行った。その際、複数日において学習支援者を配置した。 【図書館】 中学校、高等学校の試験期間前の土日に、会議室を自習室として開放した。
自己評価	【公民館・図書館】 自習室の利用者が前年度と比較し、増加した。また、公民館ロビーなどで、放課後や休日に子ども達が過ごす姿が見られるようになり、施設の認知度が徐々に上がってきていると考えられる。今後も、子ども達が立ち寄りやすい場所を目指していく。

■社会教育委員の意見・提言 [評価者:]

・ ・ ・ ・ ・
--

■今後の取組

☐ このまま継続にむけて検討 ☐ 改善して継続を検討 ☐ 事業の大幅な見直しを検討

--

【わこうっこクラブ】

常設型の放課後子ども教室であり、全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験や活動を行うことを目的としています。このクラブは、「放課後子ども教室」と「学童クラブ」の一体型または一体的な実施を目指しており、指定管理者制度を導入して運営されています。

【子ども教室】

子供たちの放課後における様々な体験活動や講師となる地域住民との交流活動を通じて、健康づくり、仲間づくり、安全な遊び場の確保を図ることを目的としています。